

練馬区若年性認知症講演会実施結果について

- 日時 令和2年7月22日(水)午後2時～4時 ・場所 練馬区立区民・産業プラザココネリホール
- 内容 認知症とともに描くみんなの未来予想図
- 講演者 丹野智文さん（厚生労働省の認知症本人大使「希望大使」に任命）

宮城県のトヨタ系列の自動車販売会社に就職。トップセールスマンとして活躍していた2013年39歳で若年性アルツハイマー型認知症の診断を受ける。2014年には全国の認知症の仲間と共に全国初の認知症当事者団体日本認知症ワーキンググループ現・一般社団法人「日本認知症本人ワーキンググループ」を設立。2015年から認知症の本人が、不安を持つ当事者の相談を受ける『おれんじドア』を仙台市内で毎月開いている。

- 参加者 124名(定員150名/申込150名超、欠席26名)

新型コロナウイルス蔓延防止のため定員を削減して実施

講演会開催に際しての感染症対応

【会場設定】

定員の削減 1 m以上の間隔をあけ椅子のみ配置
換気 1～2回休憩時間を設け、開扉して換気する
検温 非接触型温度計
消毒 手指消毒用アルコール
マスク 予備を用意
追跡 事前に郵送した来場者カードの提出による
マイク 講師と司会の専用
口頭でなく質問票による質疑応答

【参加者への要請事項】

自宅での検温と体調確認、マスク着用
来場者カードの提出、筆記用具の持参
入場時の温度測定、手指のアルコール消毒
手荷物の自己管理、他者との距離確保
会話時の位置配慮、講師への接近制限